

阪神・淡路大震災30年事業 ロゴマーク・キャッチフレーズの決定

「阪神・淡路大震災30年事業」をより効果的に展開し、機運醸成を図るため、ロゴマーク及びキャッチフレーズを公募した結果、最優秀作品（採用作品）を1作品、入賞作品を2作品決定しました。

今後、各種イベント等のポスター・チラシや震災30年特設ホームページなど各種広報等で活用します。

募集概要

(1) **募集期間**：令和6年6月14日(金)～8月9日(金)

(2) **応募件数**：ロゴマーク 41件
キャッチフレーズ 30件

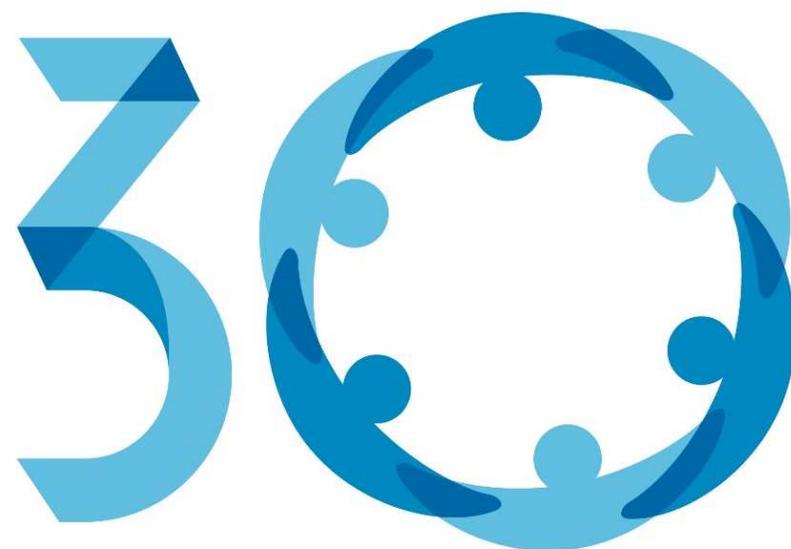
(3) **評価の視点**：

「震災30年」と「繋ぐ」を自分事として想起させること

なお、ロゴマークについては、上記の視点に加えて、フォルムが美しく、シンプルかつ使いやすいものを選定

最優秀作品(採用作品)

(1)ロゴマーク



阪神・淡路大震災30年
1995 1.17

応募者:永田 康二さん(大阪府)

趣旨:人と人が手を携え、「絆の輪」をイメージ

<講評>

- ・「『震災30年』がわかりやすいデザイン」
- ・「『0』の中の『繋ぐ』を考えるきっかけになる」
- ・「視認性がよく、使いやすい」

(2)キャッチフレーズ

『うすれない記憶はない。
つなぐべき決意がある。』

応募者:吉田 晶雄さん(兵庫県南あわじ市)

趣旨:記憶が薄れることを認めたくて、だからこそ教訓を受け継ぎ、来たるべきときに備える決意を込めた

<講評>

- ・「繋いでいく決意を一方的でなく、誰もが受け止めて考えさせられる」

入賞作品

(1) ロゴマーク



・応募者:阿部 依睦さん (兵庫県神戸市)

<講評>

・「色合いがよく、フォルムが美しい」



・応募者:まつむら ひろみさん (兵庫県神戸市)

<講評>

・「『繋ぐ』『結ぶ』というイメージを強く想起させる」

(2) キャッチフレーズ

「繋げよう記憶を 忘れないあの日を」

・応募者:阿部 依睦さん (兵庫県神戸市)

<講評>

・「『繋ぐ』をメッセージとして伝えられる」

「つなぐ つなげる あせない想い」

・応募者:maさん (兵庫県宍粟市)

<講評>

・「『繋ぐ』思いが伝わるフレーズ」